



はとのさと保育園クラスたより



1月

ひよこ組(0歳)

早いもので2026年もあっという間に1か月が過ぎました。1月は寒い日が続きましたが、天気の良い日は園庭や中庭など戸外に出て遊びました。保育者が持つ凧を「まてまて〜」と追いかけたり、ビニール袋で作った凧を一人ひとり手に持ち走ってみたいと楽しむ子ども達。また、とんどでは実際に藁を触ってみたい、燃え上がる炎をじっと見つめる姿もみられていました。

2月は節分や生活発表会など行事があります。お友だちのことが気になり、お話も少しずつできるようになってきたひよこ組さん。保育者と一緒に真似っこ遊びやわらべうたあそびを楽しんでいます。「みーつけた」「いないいないばあ」「もう一回」などと言葉も沢山みられてきています。また、指さしをして「わんわん」「にゃんにゃん」など教えてくれるようになりました。発表会ではどんな姿を見せてくれるのか楽しみにしてください。

引き続き部屋の換気や水分補給に気を配りながら子どもたちの健康管理に気を付けていきたいと思えます。

ひよこ組(0歳児)



りす組(1歳)

1月はとんど・炊き出しの行事に参加しました。炊き出しの様子をじっと見つめ、「おなかすいた〜」と食欲を高まらせながら、持ってきた正月飾りや書初めをとんどへ。燃え上がる火にびっくりしながらも、「あかい!」「とんでった!」など、見えたものを口々に話してみんなと喜び合いました。お正月休みが明けてすぐのころには、ビニール袋にシールを貼った凧を作り、園庭でたくさん走って凧上げを楽しんだり、絵の具で足型スタンプをして絵馬を作ったりと、正月の伝統遊びや行事を通して親しみをもつことができました。

友だちとの関わりも増え、誘い合って同じ遊びを一緒に楽しんだり、ごっこ遊びの中で友だちが楽しむ姿を見て輪に入っていくことも。「友だちと一緒に楽しい」という思いが大きくなって、楽しさや喜びを共有しながら一緒に成長しているのだと感じます。

2月は節分や生活発表会があります。鬼は少し怖いけど、魔法の言葉「やちちのぶ〜」と、みんなで力を合わせて怖いものに立ち向かって生きたいと思えます。発表会では子ども達の楽しむ姿を是非見てください!

りす組(1歳児)



うさぎ組(2歳)

朝晩はとても冷えて子ども達は「寒い〜」「はあーってしたら白い湯気がでるねん。」「雪やで!」と、季節を感じながら、楽しく過ごしています。

お正月の長いお休みに楽しかった話をしてくれました。寒さにも負けず園庭を走り回って楽しんでいる元気なうさぎぐみです。1月は、昔ながらの伝承遊びや行事に参加しました。餅つきでは、みんなで「べったんべったん!」と掛け声をかけ、米状から餅に変わる変化を興味深々に見ていました。そして、半殺しのお餅つきを「おいしい!」「もっと食べたい!」と言いながら美味しそうに食べていました。とんどでは、意味を聞き、燃えていく炎を見て、びっくりしながらもじっと見ていました。他にも、友だちとごっこ遊びを楽しく遊んでいる子ども達。イメージや想像を膨らませながらごっこ遊びを深められるようにまだまだたくさん遊んだり、絵本の中での発見を楽しみたいと思えます。続きは生活発表会ニュースで!!

2月は節分行事もあります。鬼のパンツのうたを動作付きで楽しむ姿や「鬼がくるかもしれへんで」「豆なげたらいいんやで」と行事を楽しみにする姿があります。今月も全力で楽しく過ごしながら、寒さを吹き飛ばしていきます。

うさぎ組(2歳児)



きりん組(3歳)

年末年始の長期休みのあと、お休み中の話を「あのね〜、きいて〜」と、友達と一緒に話しをする、にぎやかな声がお部屋に響いていました。また再会を喜びあっていましたよ。年明けから寒さも本格的になり、園庭の薄氷やつららに「きゃ〜、つめたい」と冬の様子に一喜一憂しながらも、「鬼ごっこしよう」「うんでいしよう」と、元気いっぱい走り回り、寒さを吹き飛ばしている子ども達です。部屋では、先月から絵本を読み進め、生活発表会に向けてごっこ遊びをする中で、わからないところをいろいろと自分たちで考えたり、時には保護者の方々に質問したりしながら、お話についてより深く知っていくようにしています。絵本を振り返りながら「今日は〜になりたい!」と役決めにも、力が入っています。ホールでも役になりきって、少しずつ形になってくるのを楽しみにしています。

今月は節分の行事や生活発表会など楽しい行事が待っています。やってみたくて、ちょっと恥ずかしいなど、子ども達の心の成長が感じられるようになってきました。子ども達に寄り添い、時には友達の力もかりながら、言葉でのやりとりと一緒にゲームやごっこ遊びをする中で、みんなで一緒にするから楽しいと思えるような活動を取り入れたいと思っています。生活面でも、見通しをもって生活できるように声をかけながら見守っていくように思っています。

きりん組(3歳児)



ぞう組(4歳)

新しい年が始まり、たくさん遊んで、元気いっぱい1月を過ごしました。お部屋では、正月ならではの遊びにたくさん触れました。福笑いでは、目隠しをして、「目はここかな?」「鼻どこに置いたっけ」と真剣にするそばで、周りは出来上がる顔を見てにやにや…完成した顔を見て笑い声が上がりました。コマ回しは、ドングリでコマを作り遊びました。ドングリ選びから、刺す爪楊枝の長さまでどうすればきれいに回るのかを考え、何個も作りました。

園庭では、寒さに負けることなく、たくさん体を動かして遊びました。中当てをしたい子と鬼ごっこがしたい子で意見が割れることもありましたが、話し合いをした結果、二つの遊びが合体して中当て鬼ごっこ「当て鬼」になり、ぞう組のブームになっています。ルールをレベル分けして、鬼が変わらず当たったら負けのレベル1、当てられて鬼が増えていくレベル2、当てられると鬼が変わっていくレベル3、2回まで当たっても良いレベル4と、いろんなルールを考え、変えながら楽しんでいます。レベル4の当て鬼では「あと一回でやられる!」「あと2回当たってもいい人狙おう!」といったことを考えながらも汗もかき、寒さを感じさせないくらいに走っています。

2月は生活発表会があります。「ハそもち」の世界を楽しんで、たくさん遊んで表現を深めていきたいと思っています。子ども達それぞれの願いや葛藤に寄り添いながら、みんなで楽しみたいです!

ぞう組(4歳児)



ほし組(5歳)

毎日寒い日が続いていますが、子どもたちは毎日「早く外で遊びたい!」と言って戸外遊びの時間になると喜んで外へ飛び出して行っています。友達同士での誘い合いの声も、最近ではより一層聞こえるようになってきていて、集団遊び後にも友達同士で集まって集団遊びを再びやる姿もあります。みんなドッジボールや円ドッチ、当て鬼などボール遊びが大好きで毎日ボールに触れて遊んでいます。

また生活発表会に向けたごっこ遊びも始めていて、「おうさまの耳はロバの耳」という題材を元に色々な役になってみて楽しみました。穴を掘って「王様の耳はロバの耳」と穴に向かって叫ぶ場面を真似て再現しようと、園庭にすごく深い穴を掘ろうと寒さも忘れて掘り進めています。そして、ごっこ遊びでは、友達の素敵などところを真似してみたい。どうしたらビックリしたようにお客さんに伝わるかな?この時、どんな気持ちだったのかな。と分からない事をみんなで考えていながら遊び進めています。月末には役決めをしました。まだまだ恥ずかしくて言葉が出なかったり大きい声が出せない姿もありますが、みんなお面や道具を持って嬉しそうに舞台に出てきてくれます。残り短いですがもっと深めていきたいと思えます。

ほし組(5歳児)

